

広報

ひがししらかわ



岐阜県茶総合品評会に出品するお茶の選別作業

村長室から

白川に若鮎踊る季節となりました。雨が少ないせいなのか、釣果は今一つとか。私も今年は二つの鮎釣り大会にご招待いただいたので、時間をみつけて昔とった杵柄で頑張ってみたいと思っております。▼雨といえば、今年も異常気象なのか（もうこれが普通気象かもしれないませんが）、各地で局地的豪雨が報じられています。本村は今のところ雨が少ないのですが、この号が届く頃にはどんな状態になっているか予想もつきません。自然だけは人間の思うようにはいかぬものです。村では危機管理の一環として、台風や豪雨に備える災害時対応マニュアルを定めました。災害対策として災害対策本部の設置や避難準備情報、避難勧告、避難指示などの対応が躊躇無く、また判断が遅れることの無いようにするためです。村民の皆様の安全を守るため、気象台や国・県の防災情報と連動し、的確にこれらの情報をお知らせしてまいります。▼六月までで、各団体の通常総会などが、ほぼ終了しました。できる限り出席させていただきます。各団体の活動内容や、今後の事業運営の計画などをお聞かせいただきました。今後の村政に活かしてまいりたいと思っております。▼六月二十四日に開催された議会定例会では、新村長としての今年度の村政運営方針を発表いたしました。新しい農業振興対策や福祉政策も発表しましたので、HPや今月号の広報でご確認いただきご意見を御寄せ下さい。



7
2014

村政運営方針を表明

六月二十四日に開会した平成二十六年第二回東白川村議会定例会で、就任から二カ月の今井村長から職員を意識改革、産業振興、医療、福祉、子育てなど幅広い分野に及ぶ村政運営方針が示されました。

基本方針

一般会計と特別会計を合わせた総額三十七億四千九百三十万円、対前年度比十四・六％増の積極的な当初予算は、優先順位を定めて実行します。しかし事業内容の変更や新規事業には、予算の一部変更や補正予算を提案して実行します。

事業別の内容

一、職員の意識改革

常に住民目線での仕事を徹底し、挨拶や応接といった小さな事から改善すると共に、年間を通じて研修への受講を義務化し、職員



議会で説明する今井村長

の能力と向上心を高めます。

二、産業振興策

農業振興では、今年度から行う県営中山間事業の中で、用・排水路や農道整備事業などの地元負担が生じる事業には、負担金の全部又は一部を助成します。また農地流動化奨励補助金の要件緩和などにより、集落営農を推進します。

村内産品販売促進事業を積極的に進めるため、都市や村出身者とのつながりを強化し、特典等を設けた東白川村メンバーズカード（仮称）を発行します。また「ふるさと納税制度」の運用を見直し、米や白川茶などの販路拡大を目指します。

農業の将来計画を策定するため、「東白川村の農業を考える会」の活動を強化し、生産者、行政、農協など各分野の参加を得た議論の中で政策を検討し実行していきます。

林業振興の面では、林道、作業道管理を行う事業を継続して実施するとともに、「森林整備地域活動支援交付金事業」の補助対象面積を拡大します。林業振興には今後も森林組合と協議を進め、林業機械の整備や間伐の促進などの事業を積極的に考えていきます。

商工業振興では、引き続き商工会の事業を支援するとともに、地域内の商工業者の皆さんが事業継続に必要な施策を研究して実施します。

美しい村事業では、遊歩道の安全性を高める工事を実施します。

三、災害に強い村の実現

防災では消防団の活動支援を強化します。また防災行政無線デジタル化事業の無線機について、消防団や自主防災会への配備を増強します。

四、医療（診療所の改革）

村民の信頼を回復するよう職員を意識改革を指示し、今後診療時間の拡大と安心ホットラインの充実について改善していきます。

五、福祉

高齢者福祉は、施設整備についてプロジェクトチームを設置して調査研究を開始しています。また

健康で豊かな老後を過ごすため、世代を超えて交流できる常設の交流サロンの設置について検討するよう指示しました。

新たな支援策として、特別支援学校児童生徒への通学支援制度を開始します。

六、子育て支援

国や県の子育て支援施策に対応するよう、次年度から結婚相談事業、子育て支援、出産祝い金、高校生通学補助などを一括支援する専門担当部署設置を検討します。また病児保育、病後児保育の実施について検討するよう指示しました。

七、健全な行財政に向けて

簡易水道技術管理者と税徴収吏員育成が次年度以降の課題です。第五次総合計画の策定が今年度の重要課題であり、意見公募、公聴会の開催、集落座談会での説明などを実施し、村民の意見が反映された計画を策定します。

八、むすび

村民の方々からご意見を頂き村政に反映させるため、集落座談会の開催や、「村長と語ろう」村づくりミーティングなどを通じて、対話での村政運営を進めます。

目指す子ども像

- ①自らやり遂げる、主体性を持った子
- ②ふれあい助け合える、思いやりのある子
- ③たくましい体力と気力を持った、元気な子
- ④ふるさとを愛し、ふるさとを誇れる子
- ⑤社会の一員としての自覚を持ち、規範を重んじ貢献できる子



特集

東白川村教育ビジョン

現在、東白川村の人口は減少の傾向にあり、特に保育園・小学校では顕著に表れはじめています。子どもの人数の減少は、学年の構成人数の減少だけでなく、男女比率の偏りを拡大させています。このことは、保育園・小学校・中学校での学習や各種の行事はもとより、子ども会活動や地域行事などの校外生活も含めて、様々な影響をもたらすことが予想されます。

そこで教育委員会では、村の掲げる「目指す子ども像」をこれからも継続して実現できるよう、少人数による課題や利点、今後の村の教育のあるべき姿を明示し、見通しをもって円滑に安定した教育の推進を図ることにしました。



はなのき別館で開かれた発表会の様子

各分野の今後の基本的な方策(抜粋)

みつば保育園

今後も行事を大切にし意義を十分に理解してもらえるように、人数や男女比を考慮した活動内容にします。少人数であるため、地域との連携を密にし、東白川の伝統文化や特産にふれる機会を設け、その中で、行儀に関する勉強も行います。

東白川小学校

児童数減少による少人数時代到来をチャンスととらえ、少人数だからこそできる教育にチャレンジします。また、これを機会に学校の年間行事の構成や学校組織の改革にも目を向け、真に子どもに力をつけるための学校経営を行います。

東白川中学校

一人ひとりへの教育の充実を図り、わかる喜びが実感できる授業を行います。小中の継続的な指導を強化するとともに、複数学年や全校での合同授業により、題材による制約を解消します。公共交通機関も利用し、マナーを身につけます。

社会教育

伝統行事への参加や自然体験を増加させ、ふるさとに慣れ親しみ、愛し、誇れる子どもを育てます。行事等を近隣の子ども会と合同で行い、普段と違った雰囲気を感じさせるとともに、友好関係の拡張を図ります。

少人数時代の到来を見すえて
その時の基本的な対応を今から明確に

村の指針定まる

近い将来、必至である超少子化時代の到来にいち早く対応し、充実した教育を継続させるために、村の取り組みとして、平成二十五年度の一年を通して「東白川村教育ビジョン」の策定を行いました。

全三回の全体懇話会をはじめ、分野別懇話会及び代表者会議を経て、今年五月三十日に東

白川村教育ビジョン発表会がはなのき別館ふれあいホールで開催されました。これには、保育園、小・中学校教員をはじめ、村長や村議会議員、教育委員など関係者六十三人が参加し、分野ごとに少人数を生かし、学力の定着や個性の伸長を図る学習に取り組むことや、学校行事の運営方法、PTA組織・活動内容の再検討の必要性などについて発表しました。



今後の園児、児童、生徒数の推移の予測(平成 26 年 4 月現在)

(人)

	保育園			小計	小学校						小計	中学校			小計	総計
	年少	年中	年長		小1	小2	小3	小4	小5	小6		中1	中2	中3		
H 26 年度	16	14	6	36	17	16	13	16	29	24	115	28	21	23	72	223
H 27 年度	14	16	14	44	6	17	16	13	16	29	97	24	28	21	73	214
H 28 年度	10	14	16	40	14	6	17	16	13	16	82	29	24	28	81	203
H 29 年度	12	10	14	36	16	14	6	17	16	13	82	16	29	24	69	187
H 30 年度	12	12	10	34	14	16	14	6	17	16	83	13	16	29	58	175
H 31 年度	12	12	12	36	10	14	16	14	6	17	77	16	13	16	45	158
H 32 年度	12	12	12	36	12	10	14	16	14	6	72	17	16	13	46	154

※平成 27 年度以降の人数は予測です。

東白川村のこれから

今年度の保育園年長児数は六人で、過去最少の人数です。小学校は来年度、全校児童が百人を下回り、中学校は平成二十八年度を境に、毎年十人程度全校生徒数が減っていく予測になります。

少人数時代の到来は必至ですが、この事態をどう受け止めるかが重要です。時代に応じ充実した教育を円滑に推進することで、ふるさとを愛し、ふるさに夢を感じることで育てる子どもを育てることが育てる子どもを育てることは、「子ども」の夢を育てることと同じではないでしょうか。

また、ここでのビジョンとは、「望ましい姿」「基本的な方策」を意味します。行政、教育現場、住民が見通しをもち「今」できることを考え、行動を起こすことにより、この「ビジョン」を一つ一つ実現していくことができます。

将来の子どもたちが安心して学べる環境を作るため、今からできることを村民一丸となり考えていきましょう。



検診で健康を再チェック

がんは早期発見が重要

胃がんや肺がんなど五つのがん検診を同日に受けられる健康まつりが六月七、八日にはなのき会館で行われました。住民の受診しやすさを考え昨年度から始まり、今年は両日で三百人以上が来場しました。

今年度から新たに子宮がん検診、骨密度検診、眼底検査が増え、さらに検診料が安くなり、一段と充実した内容となりました。

また、白川茶屋によるヘルシー食堂が設けられ、塩分やカロリーを抑えたモーニングセットが販売され、検診を終えた方などが利用しました。



大盛況だったヘルシー食堂

今日からみまもりのわ協力隊

小学生から認知症を学ぶ



寸劇を見て認知症の高齢者対応を学ぶ

村は、「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」のため「みまもりのわ」事業を展開しています。

この事業の一環として、四年前から小学生に向けた認知症講座が行われており、今年は六月十七日に六年生を対象に開かれました。ここでは保健、医療、福祉の職員でつくる、「みまもりのわチーム」が認知症の高齢者に関する話や寸劇などを行い、児童たちは理解を深めていました。

教室の最後には、授業を修了した証として、六年生全員にみまもりのわ協力隊の認定書とオレンジリングが渡されました。

つちのこ会からの寄贈

村の活性化を目指し

東白川村商品券つちのこ会は、村内消費を増やすことを目的に、つちのこ商品券を発行しています。現在、村内五十の事業者が加入し、換金時の手数料を納めることで会が運営されています。

また会は、これまでに保育園、小学校、中学校に遊具や机、パイプイスなど、備品の寄贈を五年前から行っており、今年は六月二十六日に社会福祉協議会に車いすと空気清浄機をそれぞれ二台寄贈しました。なお、来年はみつば保育園を予定しています。

村は、寄贈という形の地域貢献ができるつちのこ商品券の利用拡大を応援しています。



安江正樹会長(左)から目録が手渡される

社会を明るくする運動

立ち直りを支える地域のチカラ



庁舎を訪れた保護司と更生保護女性会の方々

七月一日から三十一日まで「社会を明るくする運動」が実施されます。この運動はすべての国民が、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行の少ない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

本村でも、保護司の新田充さん、山口八恵子さんと更生保護女性会の方が中心となり活動しています。七月一日には法務大臣と県知事のメッセージを村長に配達し、非行・犯罪防止や更生についての理解と協力を訴えました。

高い消防技術を披露

加茂郡消防操法大会

六月二十二日に七宗町で開かれた第五十八回を迎えるこの大会に、本村からは三連覇を目標に掲げる、第四部小型動力ポンプ班が出場しました。

加茂郡七町村の各代表が集まる本大会では、迅速かつ的確な操法が求められ、各団非常に質の高い操法を披露する中、本村は準優勝と健闘し、個人表彰には指揮者の今井昭寿さん（陰地）と三番員の今井博道さん（大沢）が選ばれ、目標は果たせなかつたものの本村の高い操法技術を示しました。

優勝した川辺町は、八月三日に白川村で開かれる第六十三回岐阜県消防操法大会に出場します。



審査員に囲まれ操法を披露する本村消防団

飲んでおいしい白川茶

消費拡大を目指して



出品茶を飲み比べる審査員

第二回白川茶推奨茶コンテストが六月十四日に美濃白川茶流通センターで行われ、昔の白川茶の特徴である「いちじょうか 萎凋香」をいかしたお茶が白川町と東白川村から六品、出品されました。

萎凋香とは、摘んだ後に十数時間寝かせた茶葉を使うことにより発生する香りのことで、主催する美濃白川茶商會はこの香りをいかし、茶業の発展とお茶の消費拡大を考えています。

また、東白川製茶組合は総合二位になり、入賞茶は、萎凋香をいかした美濃白川茶「かおる」として販売されます。

あつという間に五品

すぐにできる簡単料理

第一回お手軽クッキング教室が六月五日に保健福祉センターで開かれ八名が参加しました。

講師には白川町の栄養士を招き、「生姜ごはん」と「夏野菜と豆腐の重ね焼き」「キャベツの梅サラダ」「もずくスープ」「抹茶ビスコッティ」の五品を作りました。今回の料理は汗をかく季節の過剰な塩分摂取を考慮し、酢で味付けし、塩分を控え目につくられました。

若い人から高齢者まで手軽に作れる料理を紹介するお手軽クッキング教室。次回の教室は九月に行う予定で、現在、実施する料理のリクエストを受付中です。



切り方を教わる参加者(左)

エアロビクスで気分を一新

お母さんも子どもも大満足



音楽に合わせて軽快に動く

子育てサークルひよこくらぶのエアロビクスが六月十三日、はなのき別館で開かれました。

この日は桂川のぞみ保健師が講師となり、幼児とそのお母さんなど四十二人が参加して四十分間の有酸素運動を行いました。エアロビクスは、普段運動の機会が少ない、子育て中のお母さんに大変人気があり、毎年の恒例行事となっています。

ひよこくらぶは〇〜二歳児のお母さんが中心となり活動していき、一年に六回程行事を行っています。今年はこの後、九月にカローリング大会、十二月にクリスマス会を行う予定です。

おしらせ



東海財務局からのお知らせ

ご相談は無料で、秘密は厳守します。

相談受付時間

平日 九時～十二時
十三時～十七時

■金融ホットライン

金融サービスを利用される皆様の相談窓口です。預貯金・融資・保険・貸金・投資商品など、金融サービスに関するご相談をお受けしています。

TEL 052・951・9620

■多重債務相談窓口

借金でお困りの方のための、安心して相談できる国の相談窓口です。個人・事業者を問わず、どなたでもご相談いただけます。

TEL 052・951・1764

でっかい夏を丸かじり!

・今年のサマージャンボ宝くじは、一等・前後賞合わせて六億円

一等 四億円 二十六本
前後賞 一億円 五十二本

(販売総数七八〇億円二六ユニットの場合)

・サマージャンボミニも同時発売

一等 六千万円 九十本
(販売総額二七〇億円九ユニットの場合)

宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

販売期間 七月四日～七月二十五日まで

抽選日 八月五日

支払開始日 八月十一日

屋外広告物講習会の開催

日時 九月二十六日

九時半～十七時

会場 岐阜市生涯学習センター

タ― 二階大研修室

対象 屋外広告物の表示及び掲出物件の設置に関する業務に従事する者又は従事しようとする者

定員 百名(先着順)

受講料 三千元

■申込先・方法

岐阜県広告美術業協同組合
〒500・8154
岐阜市木の下町5・21・1

TEL 058・245・4472

自衛官募集のお知らせ

防衛省では、防衛大・医科大学校学生等及び自衛官を募集しています。

・自衛官候補生(男子)
資格 十八歳以上

二十七歳未満の者
受付期間 随時受付

この他に、航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生(女子)、防衛大学校学生、防衛医科大学校医学科学生、防衛医科大学校医学教育看護学科学士の募集も

しています。詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ先
自衛隊美濃加茂地域事務所

TEL 0574・25・7495

役場行政係(内線230)

■お問い合せ先
名古屋税関では、終戦時に外地から引き揚げてこられた方々が税関などに預けられた通貨や証券等をお返

ししておりますが、今なお引き取り手がなく保管されたままになっているものが多数あります。

返還請求・お問い合わせは、ご本人はもとよりご家族の方でも構いません。

■お問い合わせ先
財務省名古屋税関
監視部監視通関部門

TEL 052・654・4060

消防官募集

可茂消防事務組合は来春採用の消防官を募集します。

採用予定 消防士二〇五名
受験資格 高校卒業以上で昭和六十三年四月二日～平成九年四月一日までに

出生の者
受付期間 七月十五日～八月七日まで

試験日時・場所
一次 九月二十一日

県立可児高等学校
二十一日

美濃加茂市中央体育館
二次 十月二十二日

可茂消防事務組合
消防本部庁舎

■お問い合わせ先
消防本部総務課

TEL 0574・26・0144

御寄付

ありがとうございました

※敬称略

【東白川村】

■ふるさと思いやり基金

金二万円：匿名

金二万円：匿名

金三万円：匿名

■医療・保健福祉部門

金五万円：山口直視(宮代)

金十万円：田口春江(大沢)

【社会福祉協議会】

金十万円：

樋口和子(各務原市)

空気清浄機二台、車いす二台：東白川村商品券

つちのこ会

タオル、石鹸：安江工務店

古切手：安江富士夫

(東京都府中市)

古切手：古田光男

(愛知県江南市)

古切手：大明神木材

古切手：匿名



ひのき	13cm 以下小丸太 平均単価 / 9,200 円
	14cm 以上 平均単価 / 19,500 円 高値 / 87,000 円
すぎ	平均単価 / 10,500 円 高値 / 19,000 円
赤まつ	平均単価 / 6,000 円 高値 / 6,000 円
総取扱量	725 m ³
総販売高	1,145 万 1 千円

河川監視カメラを 設置しました
村では防災の観点から河川監視カメラを、越原日向大明神川と白川の合流点、神土平の平成橋、五加下野の柏本橋の三方所に設置しました。画像は村のホームページからご覧になれますので利用下さい。

「中退共」で退職金
中退共は、中小企業のための国の退職金制度です。掛金助成や税法上の優遇が受けられ、社外積立だから管理も簡単です。退職金はぜひ中退共におまかせください。
■お問い合わせ先
中小企業退職金共済事業本部
Tel 03・6907・1234

入国警備官採用試験 受験資格
①警備官 高校卒業又は卒

被保険者番号 ○○○○○○○○
氏名 広城 太郎
一部負担金の割合 ○割
有効期限 平成27年7月31日

後期高齢者医療被保険者証 有効期限
被保険者番号○○○○○○○ 平成27年7月31日
住所 岐阜市御幸町宮東1丁目1番地
氏名 広城 太郎 性別 男
生年月日 昭和○○年○○月○○日
被保険者種別 平成○○年○○月○○日
新発効日 平成○○年○○月○○日
交付年月日 平成26年 8月 1日
一部負担金の割合 ○割
保険者番号 ○○○○○○○○
保険者名 岐阜県後期高齢者医療広域連合

後期高齢者医療制度保険証の送付について
平成二十六年八月一日からご利用いただく保険証(被保険者証)を送付しますので、大切にお使いください。なお、保険証の色は「うすい青色」となります。保険証が届きましたら、記載内容を確認し、記載内容に変更がある場合はご連絡ください。また現在お持ちの保険証(うすい紫色)は、八月から使用できませんのでご注意ください。不明な点、質問等は役場住民係までお問い合わせください。(内線121)

新しい保険証の表面
業後五年が経過していない方、及び今年度卒業見込みの方
②警備官(社会人)
昭和四十九年四月二日以降に生まれ、①の期間を経過した方
受付期間
七月二十二日～
インターネット 三十一日
郵送又は持参 二十五日
一次試験 九月二十八日

「奇なるものへの挑戦」展
岐阜県博物館の今年の特別展で本村のゆるキャラ「つつち」と「のこりん」が展示されます。
会期 七月四日～八月末日
開館時間 九時～十六時半
休館日 毎週月曜(※二十一日開館、翌二十二日休館)
入場料 大人 六百元
大学生 三百円
高校生以下 無料
会場 岐阜県博物館(本館)

■お問い合わせ先
名古屋入国管理局総務課
Tel 052・559・2150
URL <http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

四階 人文展示室(二) ■所在・お問い合わせ先
岐阜県関市子屋名1989
Tel 0575・28・3111

県職員出前トークのご案内
皆さんが知りたい!と思ふ事について、県職員が皆さんのもとへ伺いし、お話しさせていただきます。
申し込み対象 地域の自治会、子ども会、企業、サークルの研修会など、どんな団体でもご利用いただけます。
実施までの流れ
①インターネットで「岐阜県 出前トーク」と検索し、テーマを選んでください。
インターネットを利用されない方は、岐阜県広報課まで連絡ください。
②実施予定の一ヶ月前までに担当所属に希望の日程をお知らせください。
③日程が決定した後に申込書を送付してください。申込書等関係書類は役場にあります。(内線246)

■お問い合わせ先
岐阜県広報課公聴係
Tel 058・273・1118

8月

日	曜日	加茂医師会 午前9時～午後5時
3	日	木沢記念病院 (美濃加茂市 / 25-2181)
10	日	和知すこやかクリニック (八百津町 / 43-3001)
17	日	粕谷医院 (八百津町 / 43-0035)
24	日	木沢記念病院 (診察室) (美濃加茂市 / 25-2181)
31	日	太田メディカルクリニック (美濃加茂市 / 26-2220)

近隣の休日診療情報
下呂市立休日診療所
■診療日時 毎週日曜日・祝日 午前9時～午後3時
■所在地 下呂市森 801-10 下呂市民会館1階
Tel 0576-24-1200
※原則として 内科・小児科の急病患者



岐阜県広報

岐阜県からのお知らせ

この情報は平成26年6月27日現在のものです。
この報道に関するお問い合わせは、県広報課まで ☎058(272)1111内 ☎058(278)2506
高宇部・音声版をご希望の方は、県広報課へご連絡ください。

情報ボックス

お知らせ 岐阜県現代陶芸美術館 吉田織部四〇〇年忌 大織部展

吉田織部の生涯をたどるとともに、織部焼をはじめとする美濃焼と同時代に花開いた諸窯のやきものを一堂に紹介します。
●期間/9月6日(土)~10月26日(日)
●料金/一般800円他※高校生以下無料
●問/岐阜県現代陶芸美術館(多治見市)
☎0572(28)3100

お知らせ 個人事業税の第1期分の納期限は、9月1日(月)です

お近くの金融機関で納期限までに納めてください。便利で確実な口座振替による納税もできます。口座振替の手続きは各県税事務所へ。
●問/県税務課 ☎058(272)1153

相談 難病医療・福祉相談会

専門医による相談会を開催します。※無料
●相談/個別形式(当日受付時間内に申込)
●とき/9月28日(日)13:00~16:00
(受付時間12:30~15:00)
●ところ/多治見市総合福祉センター
●相談内容/■神経内科疾患 ■整形外科疾患 ■膠原病、リウマチなど ■呼吸器内科疾患 ■福祉相談(福祉制度、サービス等)
●問/難病生きがいサポートセンター
☎・☎058(214)8733

相談 弁護士による無料法律相談

●とき/9月3日(水)、9月17日(水)、10月1日(水)、10月15日(水)いずれも13:00~15:50※要予約
●ところ/県民生活相談センター(岐阜市)
●定員/各日8人(先着順)
●受付/開催日の2日前までに申込先に電話(相談員が相談内容を聞き取ります)
●申込先/問/県民生活相談センター
☎058(277)1001

募集 盲ろう者通訳・介助者養成講座

●とき/9月7日~平成27年2月1日の第1日曜日、第2、第4土曜日(全15回29講座)
●ところ/わかさ・プラザ(関市)
●定員/20人(抽選)
●料金/2,700円(テキスト代など)
●申込方法/申込書(申込先で配布)を郵送またはFAXで申込先へ
●申込期限/8月30日(土)(必着)
●申込先/岐阜盲ろう者友の会 〒500-8384岐阜市藤田南5-14-53 ふれあい福祉会館岐阜県聴覚障害者情報センター内 ☎058(275)7709
●問/県障害福祉課 ☎058(272)8309
または岐阜盲ろう者友の会 ☎058(247)7321 ※20:00以降に受付

試験 行政書士試験

●試験日/11月9日(日)

●試験場所/岐阜大学(岐阜市)
●願書/県庁情報公開総合窓口および県振興局(事務所)で配布
●受付/8月4日(月)~9月5日(金)インターネットによる受付は、9月2日(火)まで
●受験手数料/7,000円
●問/行政書士試験研究センター
☎03(3263)7700

試験 平成26年度 探石業務管理者試験

●試験日/10月10日(金)
●試験場所/岐阜県水産会館(岐阜市)
●願書/県農工政策課、岐阜地域産業労働室および県振興局(事務所)で7月15日(火)から配布
●受付/9月1日(月)~16日(火)
●問/県農工政策課 ☎058(272)8359

試験 知的障がい者を対象とした 県職員採用選考

●募集職種/技能労働職(主として農産物の栽培管理等に従事)
●試験日(第1次試験)/9月28日(日)
●試験場所/県庁総合庁舎(高山市)
●願書/県人事課、県人事委員会事務局等で8月1日(金)から配布。ホームページからも入手可
●受付/8月18日(月)~9月10日(水)
●問/県人事課 ☎058(272)1111(内線2207)

8ch ボタンで県広報 毎週水曜日発行

短歌



幼子を守る母の手のように

キャベツしっかり内を包めり

今井 米子

勝ち抜いて将落合がむせび泣く

映像で見る勝負師の顔

今井 光彦

池の端マツバボタンが咲く度に

オルガンと師の歌思い出す

荻田 良香

峠道登りて開けし大空に

飛行機雲の帯伸びて行く

小林 道子

カルテ緑り「今迄生くるを不思議」とう

夫よ生きませ生きてみせませ

田口かずみ

(平成二十四年発行 木の実会短編集
【第五集から】)

人口の動き

世帯数 … 868世帯
人口 … 2,535人
(男1,222人 女1,313人)
入出生 … 3人
転入転出 … 3人
死亡 … 1人
出生 … 4人

先月との比較3人減
昨年との比較57人減

6月末住民登録人口から



ひよこ 七月二十九日は

「土用の丑の日」です。日本ではこの日にウナギを食べる習慣がありますが、年に四回ある土用の中でも、七月が一番消費量が多くなるそうです。しかし、六月十二日に「二ホンウナギ」が絶滅危惧種に指定されたため、近い将来食べる機会が減るかもしれません。ウナギには、これからの暑い夏を耐え抜くための豊富な栄養素が含まれています。白川にもウナギが住める環境を守っていきましょ。